

# 自己責任押しつけの「新自由主義」と決別し、国民の暮らしを守り、支え合う政府の実現へ

# 次の総選挙で必ず政権交代を 日本共産党

安倍晋三首相の政権投げ出しで引き継いだ菅義偉政権。「安倍政権の継承」「自助・共助・公助」を繰り返して、「自分のことは自分で」と「自助」を強調するなど、政治の責任をないがしろにしています。

次の総選挙で、日本共産党は市民と野党の共闘をひろげ、政権交代を実現し、「いのちと人間の尊厳を守り、支え合う温かい社会」へ転換をはかります。

## 市民と野党共闘で

「安政法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」（市民連合）は9月25日、日本共産党、立憲民主党、社民党の野党3党に対し、次の総選挙で野党による政権交代を実現するための政策に関する要望書を提出しました。

市民連合のみなさんからは、「5年にわたる市民と野党の共闘によって安倍政権を追い詰めたことに確信を持っています。この確信を、何としても、今度の総選挙で政権交代にもっていくことが多くの人たちの望みです」など期待の声が寄せられました。

市民連合の要望書は「立憲主義の再構築」「利益追求・効率至上主義（新自由主義）の経済からの転換」「消費税負担の軽減」「核兵器禁止条約の批准」など15項目です。

### 志位委員長と小沢一郎氏TVで「政権奪取」宣言

志位委員長と立憲民主党の小沢一郎衆院議員は9月24日のBS-TBS番組「報道1930」に出演。次の総選挙で政権交代実現の決意を表明しました。

小沢氏は「野党は次の選挙で政権を取り、われわれの主張を実現する」と語り、志位委員長は「次の総選挙で政権交代を実現する。その本気度を示してこそ、国民は真剣に耳を傾けてくれる」と応じました。

### ①社会保障の抜本的な拡充

自己責任・効率化など「新自由主義」のもとで削られた社会保障を立て直し、医療機関への財政支援をおこない、医師、保健所を増やします。介護・保育などで働く人の賃金を増やすなど待遇改善をはかります。

### ②正社員が当たり前の社会へ

アベノミクスで実質賃金がどんどん減り、非正規雇用を、この30年間で20%から38%まで増やし、派遣労働、パート、アルバイトに置き換えました。これを抜本的に改め、8時間働けばふつうに暮らせる社会をつくりまします。

### ③一日も早く少人数学級へ

コロナ禍ではっきりした40人学級の問題点。教員を増やし、子どもの数を減らし、「3密」を避ける少人数学級こそ、子どもたちの学び、安全を保障します。学生の学費を大幅に軽減します。

### ④透明性のある公正な政府の確立

「桜を見る会」「森友・加計」疑惑など政治の私物化、国会での虚偽答弁、公文書改ざん、ねつ造、廃棄などモラル崩壊、官邸による官僚支配などを一掃します。

### ⑤消費税の5%への減税

国民の所得が減り続けるなかで、安倍政権が消費税を8%、さらに10%と2度も増税し、経済の土台を壊しました。消費税を下げ、富裕層、大企業に対する優遇税制を見直して、財源を確保します。

### ⑥文化・芸術を大切に守り・育てる社会

文化・芸術関係のみなさんは、コロナ禍で活動自粛に追い込まれ、存続危機に直面しています。文化・芸術は人間が生きていくうえでなくてはならない糧です。



はたの君枝  
衆議院議員（小選挙区神奈川10区）



志位 和夫  
党委員長  
衆議院議員

みなさんのご支援で、  
共産党を伸ばしてください

衆院比例代表南関東から



沼上 徳光  
党神奈川対策本部  
事務局長



斉藤 和子  
元衆議院議員

2020年10月号外 日本共産党の見解を紹介します。

「しんぶん赤旗」をお読みください。●毎日の日刊紙は月3497円。●毎週1回の日曜版は月930円。●電子版も発行しています。